

繊維製品評価のための標準白布の仕上げ 条件の適正化

複合素材開発セクター 小柴多佳子
TEL: 042-500-1291

繊維製品の汚染性や染色堅ろう性の検査に使用する標準白布の品質を安定させるため、熱セットに着目して、熱処理温度と汚染性の関係を明らかにし、不仕上がり品の再加工を行った。

内容・特徴

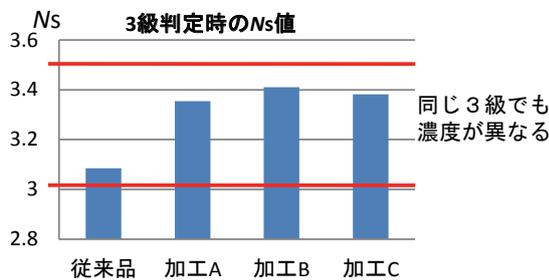


図1. 3級判定時の汚染の範囲

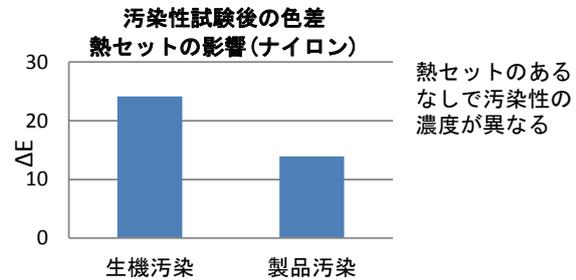


図2. 生機と製品の汚染の差

実験

生機汚染布及び染色布と処理布の色差 (ΔE^*ab) を測定し、これを汚染・染色性の評価値とした。

結果

汚染性、染色性の一番の要因は処理温度であると推測された。そこで、基準に合致しない添付白布を対象に処理温度を変えて再熱処理したところ、基準に合致する白布に近づけることが確認された(表4)。

表1. 再加工後の色差とグレースケール等級

	ΔE^*ab	GS等級(級)
再加工品1	3.1	4-5
再加工品2	0.3	5

従来技術に比べての優位性

- ① 石けん液中での汚染性と熱処理との関係に着目した。

予想される効果・応用分野

- ① 不仕上がりによる損失防止が可能

提供できる支援方法

- 依頼試験
- 技術相談
- オーダーメイド開発支援

文献・資料

関口敏昭：テクノ東京21 2003/12月号 No. 129